

建交労大阪府本部
機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

建交労近畿地協第24回総会

建交労近畿地協第24回総会は、2022年11月19日(土) 13時30分から建交労会館において開催

脅威があれば敵基地への先制攻撃を可能にする憲法9条改正議論を加速さ

せている。平和な日本を守るためには外交による解決が求められている。」また、「物価高騰に伴うだけの賃金引き上げがない状況で経済不況に陥っている。23春闘では、実質賃金の引き上げと底上げが必要であり、大幅な賃上げを勝ち取る春闘にしよう！」と呼びかけまし

しました。前村副議長(大阪府)の開会あいさつで始まり、議長には、橋本氏(関西合同支部・執行委員長)が選出され、議事を進行しました。

近畿地協を代表して、川口議長があいさつ。川口議長は、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略は許されるものではなく、国際法にも反する。また、自民・公明・維新の会などは、中国や北朝鮮による威嚇に乗じて日本が攻撃されていないにもかかわらず、



川口議長(京都府)

た。その後には早田事務局長は、1号議案(運動方針) 2号議案(会計決算報告) 3号議案(次年度予算) 4号議案(次期役員選出)が提案されました。

休憩を挟んでの討論では、各県本部からの活動報告と各県本部の権利侵害、インボイス制度の廃止を求め今後の活動などの発言がありました。大阪か



大阪合同支部組合員

らは、大阪合同支部・継ホールディングスの解雇闘争、関西合同支部大陽液送分会・大田貨物班の偽装請負裁判支援要請の訴えがありました。議案採決は、1号議案から4号議案まで、すべて拍手で確認されました。全体の参加者は、23名(オプザーバー参加1名含む)でした。

関西ダンプ支部第49回定期大会開催

関西ダンプ支部は、2022年11月6日(日)国労大阪会館1階ホールにて午前10時30分から第49回定期大会を18名の参加で開催しました。

この1年は、組織現勢を維持できず減らしての大会開催となりました。

使用促進では新名神工事に毎日1〜2台が就労し、延べ583台が就労しました。さらに、一昨年公然化したトラック運転手解雇(大西物流)本社愛媛県)争議闘争の和解報告やダンプの雇用運転手職場分会(5人)結成公然化後の取組状況を報告、団体交渉は行われているが組合嫌悪による差別を受けてる事で大幸工業(株)相手に2件の不当労働行為救済の闘いと未



大幸工業分会・山本組合員



払賃金請求裁判の報告をしました。さらに高槻砕石分会では夏季一時金要求書を提出し、10万円/人の要求獲得で協定書を交わしました。

争議支援の訴え発言がありました。前村委員長から大幸工業分会の争議、テンコーという立場で最後まで支援することをまとめて発言し、承認されました。経過報告・決算報告の承認を受け、組合員の諸要求実現と政党支持・政

治活動の自由を保障し、政治的自覚を高めるための学習強化、労働者・国民が主人公になり安心して暮らせる社会の実現をめざす運動方針(案)と予算(案)を決定しました。役員選挙は、定数内の立候補者全員が信任されました。

関西ダンプ支部・2023年度役員

2023年1月8日(日)

執行委員長／前村和弘(再)

副執行委員長／池辺保明(再)・荻田智(再)

執行委員／小園真吾(再)・中村通(再)・高見佳季(新)

会計監査／地村公光(再)・川上秀樹(再)を選出しました。

新春学習会・国労大阪会館

講師：関西勤労協 中田先生

大阪労連・23春闘討論集会

大阪労連春闘討論集会

は、11月26日(土)午前10時〜午後16時まで国労大阪会館において開催されました。全体の参加者は、会場・47名、オンライン・8名。大阪労連・河野副議長が司会進行。

主催者挨拶は、大阪労連・菅議長。菅議長は、「物価高騰が続く中、労働者の実質賃金は引き下がっている。先進国の中でも日本が1番上がっていない。23春闘では、大幅な賃上げが必要であり、私達、労働組合が奮闘しなければならぬ。」と述べました。

その後は、全労連・清岡副議長をお招きし、「低賃金と物価高から生活を守る。大幅賃上げ・底上げを」をテーマに約1時間30分、講演を行いました。

た。

講演後の特別報告は、化学一般・生協労連・自治労連・医労連から職場の現状と春闘の構えなどが各組織から報告されました。

昼食後は、4つの分散会に分かれ討論しました。建交労大阪府本部からは、前村委員長が3分散会、荻田書記長が2分散会に別れて参加しました。各分散会からの報告では、「ストライキについて



大阪府本部・荻田書記長

て・春闘でのたたかう方針・年末一時金回答状況・統一地方選挙・大阪維新市政」などで討論した内容の報告がありました。第2分散会報告は、荻田書記長が報告しました。

今のままでは国民・労働者の生活は苦しくなる



大阪市北区・国労大阪会館大会議室

ばかり、労働組合の力がためられている春闘、大幅賃上げを勝ち取る²³春闘勝利、岸田政権と大阪維新市政を終わらせ、労働者が主体となる社会へ転換させなければならぬ事を確認して、春闘討論集会は閉会しました。